

## 介護技術講習会のカリキュラム(案)

### 1 介護技術

項目	目標	講習内容	時間
介護過程の展開	事例に基づき介護過程等の講義及び演習を行い、原則を確認する。	介護における目標等の講義 事例に基づく介護過程に関する講義 事例検討	6
コミュニケーション技術	コミュニケーションの技法の原則を確認する。	コミュニケーションの技法に関する講義及び演習	2.5
移動の介助等	移動及び安全・安寧の介助の原則を確認する。	社会生活維持拡大への技法に関する講義及び演習 安楽と安寧の技法に関する講義及び演習	6
排泄の介助	排泄の介助の原則を確認する。	排泄の介助に関する講義及び演習	4
衣服の着脱の介助	衣服の着脱の介助の原則を確認する。	衣服の着脱の介助に関する講義及び演習	3
食事の介助	食事の介助の原則を確認する。	食事の介助に関する講義及び演習	3
入浴の介助等	入浴・身体の清潔の介助の原則を確認する。	入浴の介助に関する講義及び演習 身体の清潔の介助に関する講義及び演習	4
合計			28.5

### 2 修了認定

項目	目標	内容	時間
総合評価	介護技術の総合評価を行う。	事例を通して、介護技術の総合評価を実施	3.5
合計			3.5

(総計 32時間)

(土・日の2日) × 2Wで1クールのイメージ(具体的な実施方法は実施主体の判断による。)

介護技術及び修了認定の開始にあたり、オリエンテーションを各30分程度実施すること。